

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	:ゼラストVCカプセル VC1-1
会社名	:大洋液化ガス株式会社
住所	:東京都中央区日本橋堀留町 1-3-21
担当部門	:ゼラスト事業部
電話番号	:03-3667-5201
FAX 番号	:03-3667-5206
メールアドレス	:zerust.email@taiyolpg.com
緊急連絡先	:同上
受付時間	:月曜日～金曜日 9:00～17:20
推奨用途及び使用上の制限	:金属の防錆

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	:分類対象外
可燃性/引火性ガス	:分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	:分類対象外
支燃性/酸化性ガス	:分類対象外
高压ガス	:分類対象外
引火性液体	:分類対象外
可燃性固体	:分類できない
酸化性液体	:分類対象外
金属腐食性物質	:分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性	:分類できない
皮膚腐食性/刺激性	:分類できない
眼に対する重篤な損傷製/刺激性	:分類できない
感作性	:分類できない
生殖細胞変異性	:分類できない
発がん性	:分類できない
生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	:分類できない

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

:分類できない

環境に対する有害性

水生毒性(急性)

:分類できない

水生毒性(慢性)

:分類できない

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

:混合物

化学名

:気化性防錆材

成分及び含有量

製品重量あたりの亜硝酸ナトリウム含有割合

:1%未満

*** 上記成分は酸化防止剤および凝固剤によってタブレット(錠剤)状に固められ、
化学成分が人体に触れないように発泡材によって包まれている。**

化学式又は構造式

:特定できない。

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

:官報に掲載済み。

CAS No.

:7632-00-0(亜硝酸ナトリウム)

国連分類及び国連番号

:該当しない。

PRTR 法

:該当しない。

4. 応急措置

**:製品の状態(発泡材内にタブレットが入っている状態)の場合は、人
体に対し影響は与えない。万が一、偶然もしくは人為的に製品を分解し中のタブ
レットが露出した場合において、タブレットが粉末状になってしまった場合以下の
措置を行う。**

吸入した場合

:新鮮な空気のところへ移動させる。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行
う。

皮膚に付着した場合

:石鹼でよく洗う。

目に入った場合

:大量の流水で15分以上洗う。

飲み込んだ場合

:水を飲ませ、吐かせる。

5. 火災時の措置

消火剤

:水・粉末・炭酸ガス・泡・乾燥砂

特有の有害危険性

:燃焼した場合、炭素酸化物、窒素酸化物のガスを発生する。

消火を行う者の保護

:ゴム・皮製保護手袋、保護眼鏡(ゴーグル型)、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 製品の状態(発泡材内にタブレットが入っている状態)の場合は、人体に対し影響は与えない。万が一、偶然もしくは人為的に製品を分解し中のタブレットが露出した場合において、タブレットが粉末状になった場合、以下のことに注意する。
保護具の着用	: 保護具(眼鏡・マスク・手袋)を着用し、作業する。
環境に対する注意事項	
回収・中和	: 「13. 廃棄上の注意」に従い廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

注意事項	: 発泡材を分解して内容物を取り出さないこと。 使用直前まで開封しないこと。開封後、使用しない間は再度密封すること。
------	---

保管

保管条件	: 常温で保管し、高温、直射日光を避け保管すること。密封状態で保管すること。水への暴露を避けて保管すること。
技術的対策	: 火災、爆発の防止のため、熱源をから離れた場所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 該当しない。
追加情報	: 工場で使用する際、点火源と溶媒を避けて使用すること。
許容濃度	: ACGIH 勧告値に記載なし。
保護具	
呼吸用保護具	: 該当しない。
手の保護具	: 該当しない。
目の保護具	: 該当しない。
皮膚及び身体の保護具	: 該当しない。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: スポンジ状カプセル
臭い	: 特になし。
蒸気圧(mmHg)	: 測定データなし。
蒸気密度(空気 = 1)	: 測定データなし。
融点()	: 85 以上になるとスポンジ内部の錠剤が分解する。
発火点	: 測定データなし。
密度	: 0.9
水溶解性	: 該当しない。

10. 安定性及び反応性

安定性	:安定
自己反応性・爆発性	:なし
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	:火炎と溶剤
混触危険物質	:製品内部に入っている内容物に含まれる化学薬品と反応する可能性がある、酸、酸化剤、還元剤

11. 有害性情報(人についての症例、免疫学的情報を含む)

	:製品を分解しない限り、有害性は生じない。
急性毒性	:製品を分解し、内容物を食べた場合チアノーゼを引き起こす可能性がある。
慢性毒性	:製品を分解し、内容物を取り出した場合、虚弱と皮膚への刺激
皮膚刺激性	:素手で長時間、内容物に直接触った場合、刺激性を生ずる場合がある。
眼に対する刺激性	:製品を分解し、内容物を取り出した場合、刺激性を生ずる場合がある。
発がん性	:該当しない(全米毒物学プログラム、米労働安全衛生管理局)
PRTR 対象物	:該当しない
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	:現在のところ有用な情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	:現在のところ知見なし。
残留性・分解性	:現在のところ知見なし。
生態蓄積性	:現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

:廃棄は焼却設備等で焼却処分を行う。
処分作業は可燃物の取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。
また、関連法規及び地方自治体の基準に従い適切な廃棄を行う。

14. 輸送上の注意

陸上輸送	
消防法	:危険物に該当しない。
海上輸送及び航空輸送	
船舶安全法	:危険物に該当しない。
航空法	:危険物に該当しない。
注意事項	:特になし。

15. 適用法令

消防法(危険物)	:危険物に該当しない。
水質汚濁防止法	:該当しない。
毒物劇物取締法	:該当しない。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律:産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)	

16. その他情報

1. 製品安全データシートの作成指針 (社) 日本化学工業協会
2. ACGIH, Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices(1996)
3. IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS
VOLUME 33
4. NTP(全米毒物学プログラム)発がん性物質に関する事例報告
5. OSHA(米労働安全衛生管理局)発がん性物質に関する事例報告
6. PRTR調査対象物リスト(2009年度) 経済産業省HP
7. Northern Technologies International社製安全データシート
8. EXCOR社製安全データシート
9. JIS Z 7250 化学物質等安全データシート(MSDS)

ここに記載した情報は信頼できるとみなされる出所から編集されたものであり、弊社の知る限りでは執筆の時点で正確なものです。本製品安全データシートにおけるデータは、ここに規定された製品にのみ関するものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関していかなる保証を行うものではなく、またその品質を保証するものでもありません。製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものであります。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。この製品が使用される環境及び条件については弊社がコントロールできない為、弊社は購入者又は第三者に対する損傷に対して、又は物的損害に対していかなる責任を負うものではありません。本MSDSの改訂版を受領した場合は、旧MSDSを廃棄下さるようお願いします。